

2021年1月19日

踏切と～まれ！

『厳寒季の踏切事故防止キャンペーン』を行います！

JR北海道では、1月21日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図るため「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、道路はますます滑りやすい状態になることが想定されます。そこで「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」「早めのブレーキとスピードダウン」など、駅及び列車内の車内放送等により、安全通行をドライバーに呼びかけます



踏切事故防止キャンペーンの様子

■実施期間

2021年1月21日(木)から1月30日(土)までの10日間

■実施内容

- ・列車内での車内放送による呼びかけ
- ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問しての呼びかけ
- ・ラジオCMの放送
- ・駅構内及び列車内での踏切事故防止用ポスターの掲出

- ・駅構内(札幌駅他4駅)でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方と接触する駅構内・踏切等での啓発活動は中止します。

<2020年度の踏切事故発生状況>

2020年度は1月10日時点で、1件の踏切事故が10月に発生しています。昨年度の同時期と比較すると1件の減少となっています。

冬本番を迎え、路面凍結による踏切手前でのスリップ事故が懸念されます。昨年度は、冬期間(12月～3月)に2件の踏切事故が発生しており、視界不良による踏切内での車の脱輪や、踏切手前で車がスリップし、止まり切れず踏切内へ進入したため、列車と衝撃した事故が発生しています。

天候や路面状況に応じた慎重な運転を心がけ、踏切手前でのスピードダウンと早めブレーキによる確実な一旦停止を呼びかけてまいります。